

## 「e 手仕事図鑑」のあゆみ

特定非営利活動法人 地域学習プラットフォーム研究会

「e 手仕事図鑑」は、多くの方のご努力による開発と、普及・活用の趣旨に賛同された各地の団体・個人のご協力によって運営・提供しています。これまで至るあゆみをご紹介します。

### (1)手仕事を発信する住民ディレクターの発足

平成 16 年、富山インターネット市民塾のサポーターを通じて、富山県内に残る手仕事の様子を描いたイラストの紹介を受けました。能面師や木彫、宮大工などの伝統工芸、手造りの家具や靴作りに取り組む若者、地域に伝わる豆腐や昆布職人など 96 人が描かれていました。

このイラストに共感した人々が、イラストに描かれた人たちの働く様子や技、苦勞、やりがい取材し、映像コンテンツとして発信しようとする住民ディレクターチームを発足させました。

インターネット市民塾の参加者や大学生、一般市民も新たに加わり、この活動を支援する体制が広がっていきました。

### (2)富山から各地への広がり

平成 17 年からは、地域にみられるさまざまな仕事の取材、コンテンツ制作に住民ディレクターが大いに活躍しました。富山では助成金を活用し、平成 20 年度までに富山の手仕事に携わる 20 人を取材し、子どもたちの職業観を育成する教材開発と体験学習に取り組んでいました。この取り組みに注目した各地のインターネット市民塾が、それぞれの地域の手仕事などのコンテンツ制作に取り組むようになりました。

### (3)全国版「e 手仕事図鑑」の開発

各地の連携・協力の機運の高まりをもとに、全国版「e-手仕事図鑑」の開発が提案され、その開発に向けて地域学習プラットフォーム研究会から学習ソフトウェア情報研究センターを通じて「子どもゆめ基金」の助成の申請を行っています。助成金の採択を受けた平成 21 年 6 月に、第 1 回教材開発推進委員会を開催し、趣旨に賛同いただいた各地のインターネット市民塾等により、制作してきた教材・著作権の提供や今後の教材開発の協議を行い、全国版「e 手仕事図鑑」の開発に取り組むことになりました。

賛同いただきました団体および個人（平成 21 年 6 月時点）

- ・富山インターネット市民塾推進協議会
- ・特定非営利活動法人市民の力わかやま
- ・特定非営利活動法人徳島インターネット市民塾
- ・特定非営利活動法人とさはちきんねっと
- ・特定非営利活動法人くまもとインターネット市民塾
- ・特定非営利活動法人生涯学習サポートセンター
- ・生涯学習支援福島あかつき
- ・SFC 市民塾
- ・石浦香子（イラスト提供）

開発する「e 手仕事図鑑」は、既存の教材の移管も含めて地域学習プラットフォーム研究会が管理・更新・公開および著作権等の管理を一括して行い、共有財産として運用していくこととしました。

平成 21 年度は各地合わせて 15 教材、22 年度は 13 教材、23 年度は 13 教材を開発し、平成 20 年度までに開発した教材の移管分と合わせて、61 教材を揃えた「e 手仕事図鑑」としました。

開発にあたっては、地域学習プラットフォーム研究会の自己資金のほか、平成 21 年度から平成 23 年度まで子どもゆめ基金助成金を活用し、初期開発と教材の充実に充てるとともに、指導者用教材や普及啓発のためのパンフレット、DVD を揃え、普及・啓発に備えています。

平成 24 年度以降も引き続き教材の開発と活用の普及をすすめ、希望する地域には地域学習プラットフォーム研究会が、教材の開発と学習活動に対する助成を行ってきました。

また、普及にあたっては、学習ソフトウェア情報研究センターと連携して全国の教育関係者への案内を行っています。

平成 28 年度は地域学習プラットフォーム研究会のサーバーの移行に伴い、「e 手仕事図鑑」も移行するとともに、前年度に開発された教材や活動報告を追加・更新しています。

(一部の画面は移行に伴う整備を継続中です)

